

明石・大蔵谷の四季

町と人の風景



神戸学院大学地域研究センター

神戸学院大学から
海へ向かって坂をくだり、
国道2号線を一步南へ入ると、
浜風がやさしく吹きわたる
歴史の町並みが広がる。
大蔵谷である。

私たちは、地域と大学の
よりよい連携を求めて
町の人々と一緒に研究してきた。
本書には、大蔵谷の人々が
受け継いできた四季折々の行事と
伝統に生きる町の人々の姿が
写されている。

目次

春	休天神社雛形祭り……………	6
夏	稲爪神社夏祭り……………	14
	休天神社夏祭り……………	16
	地蔵盆……………	21
秋	稲爪神社秋祭り……………	22
冬	注連縄替え……………	48
	稲爪神社初えびす……………	48

謝辞

本写真集『明石・大蔵谷の四季—町と人の風景』を発行することができましたのも、明石・大蔵谷のみなさまの多大なるご支援、ご協力があったことでした。わたしどもの一方的なお願いにもかかわらず、訪問した際に快く迎えてくださり、心から感謝する次第であります。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

文部科学省学術フロンティア推進事業

阪神・淡路大震災後の地域社会との共生をめざした

大学の新しい役割に関する実践的研究（文化人類学分野）

明石・大蔵谷の四季—町と人の風景—

2007年3月31日 発行

編集・製作 寺嶋秀明・早木仁成・五十嵐真子・岩谷洋史

発行所 神戸学院大学地域研究センター

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518

TEL. (078)974-1551 (代)

印刷・製本 協和印刷株式会社